

小規模事業者持続化補助金（一般型）

計画書の作成例①

1 - 1. 自社の概要

事務局が公表している作成例

【概要】

当店は、2017年に創業し、こだわりの珈琲豆を丁寧に焙煎して販売している。地域住民や若い世代のお客様が多く、「他の珈琲店では味わえない」と好評をいただいている。

【立地場所】

最寄り駅から徒歩30分、高速ICも近くはないが、口コミにより、地域外からの来客数も年々増加している。開店当初は地域内のみの客層だったが、現在では全体の約2割が地域外からの来店となっている。

事務局が公表している作成例を改善

※電子申請画面にそのままコピペしやすいように制作しています。

1. 概要

①創業の経緯

当店は、珈琲豆店で、創業は2017年。元々は、会社員だった代表が、小型の焙煎機を買って、好みの珈琲豆を焙煎し、自分で飲んだり、人にふるまつたりしていた。それが「美味しい」と評判を呼び、「豆を売ってほしい」と頼まれたところがスタート。その後、仕入れのルートを確保。2017年に店舗を借り、お店のオープンに至った。

②営業概要

営業時間は11~19時、水曜日が定休日。イートインは行っておらず、珈琲豆及び珈琲豆の関連商品を売るだけなので、ランチ前ぐらいから、仕事帰りぐらいの利用を想定して、この営業時間としている。販売している商品にはこだわりがあり、店主が自ら選んで仕入れた珈琲豆を、自ら丁寧に焙煎して販売している。そのため、豆の種類も風味も、「他の珈琲店では味わえない」と好評を頂いている。

2. 立地場所

最寄り駅から徒歩30分と、徒歩ではやや遠い。また、高速ICも近くはないし、駐車場も確保できていない。ただ、口コミが広がっており、現状、安定した客数を確保できている。顧客は、地域住民が中心。若い世代から高齢者まで幅広い。開店当初は地域内の客のみだったが、最近では、全体の約2割が地域外からの来店となっている。

改善ポイント

事務局が公表している作成例は、さすがに内容が少ないです。どんなお店なのか、**行ったことがない人でも想像できる、「いい店なんだろうな」と思える**、そんな作文を心がけています。